



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第23巻2号

(季刊誌)

2021年6月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital



医療法人仁志会 西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26

角膜疾患の最新治療

角膜クロスリンク

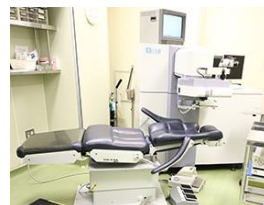
角膜の実質の強度を高め、円錐角膜・角膜拡張症の進行を停止させることが可能です。角膜にリボフラビン(ビタミン B2)を点眼しながら長波長紫外線を角膜に照射すると、角膜の大部分を占める実質コラーゲン繊維が架橋(クロスリンク)されます。角膜の繊維結合を密にすることで角膜の強度が強くなり、角膜形状を保持し円錐角膜や角膜拡張症の進行を抑えることができます。また、角膜が若干平坦化するので、近視も少し矯正できる場合があります。(保険適応なし)



KXL® System(Avedro 社/アメリカ)

PTK (治療的表層角膜切除術)

主に角膜ジストロフィや帯状角膜変性などの角膜の病気に有効な治療で、混濁した角膜の表層部分をエキシマレーザーで平滑に削り取り、角膜の透明性を向上させ視力の改善を目指す治療法です。角膜の表層を直径 6 mm 前後、深さ 0.1~0.2 mm の範囲で削ります。切除できる角膜量には制限があるため、全ての混濁を除去できるわけではありませんが、表層の濁りを除去した分、視力の向上が見込めます。点眼麻酔。レーザー照射時間：約 1 分。(保険適応あり)



エキシマレーザー角膜手術装置 EC-5000CXIII(ニデック社/日本)

角膜移植

角膜組織の全層を移植する全層移植と、一部の組織を移植する角膜深層移植、角膜内皮移植があります。混濁した角膜を切除し、アイバンクから提供されたドナー角膜(透明な角膜)を移植する手術です。当院ではアメリカのアイバンクからドナー角膜を輸入しています。これにより手術の予定日にドナー角膜を入手することが可能です。(保険適応あり)

羊膜移植

組織(羊膜)バンクで凍結保存されている羊膜を角膜上、強膜上などに移植する手術です。羊膜には炎症反応を押さえ、傷の修復を促進する働きがあります。古くから皮膚熱傷後の被覆や腹腔内手術後の癒着防止に利用されてきました。この手術により眼球表面の炎症を抑え、再生してくる組織や細胞の正常化を促進します。(保険適応あり)

角膜矯正により視力補正する治療法 オルソケラトロジー

夜レンズをつけて寝るだけで次の日は裸眼で過ごすことができる新しい近視矯正法です。特殊なデザインの高酸素透過性ハードコンタクトレンズを夜間就寝中に装用することにより、角膜形状を矯正します。朝レンズを外し、日中は裸眼で過ごすことができるので、毎日を快適にアクティブに過ごすことができます。外科的手術とは異なり、コンタクトレンズの装用を中止すれば角膜の形状は元の状態に戻りますので安心してお使い頂けます。子供から大人まで幅広い層に治療が可能です。「近視進行抑制効果」も注目されており、最近では小・中学生の装用者も増えています。治療の効果には個人差がありますので、ご興味を持たれた方は一度スタッフにご相談ください。2021年7月1日～8月31日 期間限定にて、適応検査代・装用検査代をリーズナブルな価格でご提供します。〈ブレスオーコレクト・マイエメラルド取扱〉(保険適応なし)



当院の専門外来

- 白内障老視/屈折矯正外来(多焦点眼内レンズ・眼内コンタクトレンズ(ICL)・オルソケラトロジー) ● 角膜外来(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK/DALK)・羊膜移植・円錐角膜・角膜クロスリンク) ● ドライアイ外来 ● ぶどう膜炎・網脈絡膜炎外来 ● 眼瞼・涙道外来(チュービング・DCR) ● 網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ) ● 緑内障外来 ● 小児眼科外来 ● ロービジョン外来

無料説明会のご案内

予約不要

- 眼内コンタクトレンズ ※
LASIKにかわり、角膜を削らない近視矯正手術「眼内コンタクトレンズ」。新しい時代へ。
- オルソケラトロジー ※
就寝中に(高酸素透過性の)コンタクトレンズを装用し、起床時レンズを外す。日中は裸眼で快適に生活できる新しい視力矯正治療法。子供から大人まで幅広い層に治療が可能です。
- フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術(多焦点眼内レンズ) ※
通常の白内障手術に「フェムトセカンドレーザー + 多焦点眼内レンズ」を用いることでより質の高い良好な視機能を得られます(当院700例以上の実績にて)。

※保険適応なし

ご興味のある方はこの機会に是非ご家族やお友達と一緒にご参加ください。当院1階にて開催。

(毎月・第一土曜日) 午前10:00～(1時間)

7月3日・8月7日・9月4日・10月2日

基本理念のもと、当院は常日頃からスタッフ全員で症例の共有を行い、患者さんにとっての最適解を選択しております。